

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市南部地域療育センター保育所等訪問支援事業所			
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～	令和6年 12月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～	令和6年 12月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○訪問先施設評価実施期間	令和6年 11月 11日		～	令和6年 12月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的なアセスメントと個に沿った発達支援	利用者の方、職員のアンケート結果から療育センター内での個別の支援について良い評価いただきました。専門的なアセスメントを基にお子さんの発達支援に取り組んでいます。	専門職としての研修は継続的に実施している、今後保育所等訪問支援、地域連携というテーマでの研修を企画し資質向上を図っていきます。
2	訪問施設への具体的で取り組みやすい支援の提案	専門的なアセスメントを基に訪問先それぞれの環境に合わせて提案させていただいています。	上記1の項目に加えて、訪問支援員の情報共有の場を増やし、お子さんの過ごす環境についての知識を得て実践に活かしていきます。
3	地域との連携	療育センター開所当初より地域との連携は継続して行っており、お子さんの過ごす地域との繋がりを大切にしています。先生方から日常の様子を教えていただき、お子さんが安心して過ごし、より発達が促される支援について共有していきたいと考えています。	療育センターの取り組みについて理解して頂けるように連携を深め、訪問以外の相談などの機会についてもご案内していきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数について	利用者の方、訪問施設のアンケートにもあるように、訪問回数の増加を希望する意見をいただきました。当センター内の職員配置として、保育所等訪問支援事業担当専従としての配置となっていない点が挙げられます。	訪問回数について増加を実現できるかの人的配置や人材育成について検討していきます。
2	情報提供（センター内の家族プログラム等の案内）について	療育センターのホームページ等の周知が不足していたと感じています。	利用者の方が利用しやすい情報提供について取り組んでいます。ホームページ以外にも積極的に情報発信できる方法を検討していきます。
3			